和歌山南ロータリークラブ

Rotary WAKAYAMA SOUTH R.C. CLUB WEEKLY

2025年 11月 第1週

幹事

戸井洋木

会長エレクト 石橋英二

副委員長 広瀬晋作

林 勇伺 野口雅之

大工博史 井口善隆

2025~2026年度 国際ロータリー会長メッセージ

よいことの ために 手を取りあおう Rotary (1)

事務所 〒640-8215 和歌山市橋丁23 N-4ビル 2F

TEL(073)423-8822 FAX(073)423-8821

http://www.wminamirc.jp/

例会場 〒640-8156 和歌山市七番丁26-1

ダイワロイネットホテル和歌山 TEL(073)435-0055

例会日 每週金曜日 12時30分~13時30分

2024-25年度 RI会長 フランチェスコ・アレッツォ

「 UNITE FOR GOOD 」

北野治義

岩本 研

北畑博史

石橋英二

越部早絵

会報委員長 江口暢洋

次週のプログラム

前嶋ヒロム

本日のプログラム

2025年11月 7日(金) No.3020

第3077回 例会

- ソング「君が代」・「奉仕の理想」
- 〇 ホームカミング記念卓話 米山学友会 会長 和歌山南RC 2019-21年度 米山奨学生 グェン ティトゥ チャン 様

会長報告

皆さんこんにちは、先週は 城 南ロータリークラブとの合同夜 間例会でしたが 親睦の皆さま お疲れ様でした。 先日 親睦 旅行で 伊勢に行って参りまし た。雨の中のゴルフも少ない 雨で神さまに守っていただき、 なにしろ優勝が 戸井幹事だっ たのです、日頃の努力を神さま が認めていただき 感謝申し上



伊勢神宮では 内宮神楽殿で 参加者全員で 厳かで素 晴らしい体験をさせていただきました。植田理事 水城委 員長のおかげで 素晴らしい旅行でした。おかげといえば おかげ横丁も楽しんで参りました。

そして 岩橋会員より 美味しいお菓子 南方会員より 美 味しいお酒 広瀬会員より 美味しいワインをいただき本当 にありがとうございました。感謝申し上げます。



11月14日(金)

〇 ソング「我らの生業」

ガバナー

直前会長

副会長

会長

〇 未定

幹事報告

親睦旅行に参加された皆様、お疲 れ様でした。植田理事、水城委員 長はじめ、親睦活動委員会の皆 様、大変お世話になりました。限ら れた予算の中、大変楽しい旅行に なりました。

2018-19年度の青少年交換学生 大瀬ゆゆさんよりお手紙・本・お菓 子が届きました。大瀬ゆゆさんは

起業され、就労継続支援施設などを経営されているそうで す。お手紙はニコニコ掲示板に貼っておりますので、ぜひ ご覧ください。

委員会報告

①親睦活動委員会 水城 実委員長

城南ロータリークラブとの合同夜 間例会にご参加いただきました会 員の皆様ありがとうございました。 親睦委員会のメンバーにはハッピ を着ておもてなしいただき感謝申 し上げます。また、司会の労をとっ

て下さった前田会員、伊良波会員ありがとうございました。 親睦旅行では植田理事の素晴らしい企画力で楽しい思い 出がいっぱい出来ました。参加いただいた会員、ご家族の 皆様ありがとうございました。

前週の報告

2025年10月31日(金)

出席報告

会員76名(出席規定適用免除会員7名) 出席53名 ホームクラブ出席者69.74%

②地区米山記念奨学会

三木菊夫副委員長

来週の卓話は地区米山学友会会長、グェンティントゥチャンさんの「ホームカミング記念卓話」となっております。 チャンさんは2019~2021年の2年間、 当クラブでお世話をしたベトナム出身の奨学生です。

当日は皆様で温かく迎えていただきますよう、宜しくお願いいたします。



本日のソング



岩橋ソングリーダー 「手に手つないで」

出席報告



貴志出席委員長

ニコニコ箱



水城君・・・城南RCとの合同例会、親睦旅行にご参加の 皆様ありがとうございました。

前嶋君・・・伊勢の旅行すばらしかったです。 戸井幹事ゴルフ優勝おめでとう。

戸井君・・・植田理事、水城委員長、親睦旅行でお世話に なりました。大変楽しかったです。 ゴルフも優勝させていただいて。

越部君・・・橋本忠美会員、上西会員ごちそうさまでした。

北畑君・・・植田理事、水城委員長 楽しい旅行ありがとう

ございました。

北畑君・・・山本さんおいしかったです。 ありがとうございました。

計 ¥13,000 - 累計 ¥880,900 -



卓話

「吉原分校の存続に ついて」

伊良波 範子 会員

名草山の麓にある吉原分校は、和歌山市に唯一遺る木 造校舎の小学校で、2023年 に廃校となりました。私たち



(森の願い)は吉原分校の校舎を未来に遺すために2022年から活動を続けてきました。吉原分校が休校になる以前に出された耐震補強の見積もりは約2億円とのことでしたが、2023年に建築家の中西重裕氏が耐震調査を行い、2024年に限界耐力計算による耐震補強の設計図を作成し、JSCA関西の審査を受け、約3300万円で校舎は公共施設として充分に安全な施設に出来ることを示しました。 文部科学省は『~未来につなごう~「みんなの廃校」プロジェクト』というサイトを立ち上げて廃校活用を推進しており、令和6年度の廃校の活用状況をみると、取り壊しを予定しているのは全体の2.8%のみでした。

ところが今年9月の市議会において吉原分校の解体予算 案(71676000円)が可決され、このままで行くと11月の下旬 から解体工事が開始されます。 9月の市議会の答弁をみ ると、私たちが示した耐震補強については情報共有されて おらず、地域住民の意向についても正しく認識出来ていな いと思われたため、私たちは地域住民に対して改めてアン ケート調査を行いました。 アンケートに回答した約9割の 地域住民が校舎に思い入れがあり、私たちが提案する公 民共創による校舎の保存活用を希望するとの結果となり、 後日校舎保存を願う地域住民と分校卒業生計292名の嘆 願署名を集め、10月28日に市長宛てに嘆願署名を提出し ました。今や世界が循環型社会を目指す中、何も生み出さ ない解体に多額の費用を遣って貴重な環境財産をごみに してしまうのはあまりにも勿体ない事です。吉原分校の校 舎は建物として文化的な価値があるだけでなく、まるでジ ブリの世界のような癒しの空間であり、耐震補強を施せば、 あらゆる年代の人達が交流できるwell-beingの拠点として、 また災害時には地域の安全な避難所としても役立てること が出来ます。どうか市長に私たちの想いが届きますよう に。



